

修善寺温泉

〔和漢三才圖會六十七〕桂谷山修善寺 在修善寺村略中

小名温泉

〔吾妻鏡三十一〕嘉禎二年四月八日甲午將軍家藤原賴經依可有渡御于伊豆國小名温泉以來十七日

被定御進發日而去一日若宮蟻怪異事動搖不安之由占申之上又宿曜師珍譽法印可有御慎遠行之旨言上陰陽師不快之由占申仍今日有議定遂思食止云云

甲斐國 湯島温泉

〔諸州奇跡談上〕甲斐國

湯島村此處に温泉有東照神君此温泉に浴し給ふと云其比名主久左衛門と申者に御鐵炮壹挺被下置今に是を所持すこれは天正三年三月五日の事也と云御墨付あり

相模國 葦刈温泉

〔類聚名物考地理三十五〕葦刈湯 あしかりのゆ 相模 足柄郡

〔萬葉集十四東歌〕阿之我利能刀比能可布知爾伊豆流湯能余爾母多欲良爾故呂何伊波奈久爾

箱根温泉

〔東海道名所圖會五〕箱根温泉七ヶ所にあり七湯巡といふ箱根權現坂を通過街道に標石ありこれより左の方へ入略中

蘆之湯七湯の其一箇也權現坂よりこれまで一里浴屋は町の中にあり一二三と仕切て入湯す氣味澀く苦し又硫黃の香強し流れ湯みな黄色なり功能は癩病微病五痔一切の腫物に相應して早く治す浴屋の前兩側に一町許入湯の宿舍ありて奇麗なり

小地獄蘆の湯より八町許にあり山腹に湯氣盛んに立て手を入るればはなはだ熱し按ずるに積陰懲聚りて火氣を生じ土精熱して硫黃となるこれ温泉の源なり土人云鍛冶屋の地獄酒屋の地獄紺屋の地獄ありといふ地氣少しづゝ色變る也又これより山奥五里許に大に地氣立昇る所ありとぞ里諺にこれを大地獄とよぶ